

登壇者PROFILE



西村 明宏

環境大臣

1960年福岡県生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修了。早稲田大学等で教鞭を執った後、衆議院議員政策秘書、大蔵大臣秘書官を務める。2003年11月の衆議院議員総選挙に宮城3区から出馬し初当選。内閣府大臣政務官、国土交通副大臣、復興副大臣、内閣府副大臣、内閣官房副長官、衆議院国土交通委員長等を歴任後、2022年8月に発足した第2次岸田改造内閣において、環境大臣 兼 内閣府特命担当大臣（原子力防災）に就任。



カンニング竹山 氏

お笑いタレント

1971年、福岡県生まれ。お笑い芸人。本名は竹山隆範(たけやま・たかのり)。2004年にお笑いコンビ「カンニング」として初めて全国放送のお笑い番組に出演。「キレ芸」でブレイクし、その後は役者としても活躍。著書「福島のことなんて、誰もしらねえじゃねえかよ!」やSNSで福島県の魅力を発信している。



高村 昇 氏

長崎大学原爆後障害医療研究所 教授
東日本大震災・原子力災害伝承館 館長

1968年長崎県生まれ。長崎大学医学部、同大学院医学研究科博士課程修了後、同大学医学部助手、同大学院公衆衛生学分野准教授を経て、2008年4月より長崎大学原爆後障害医療研究所教授。専門は分子疫学、国際放射線保健学。公衆衛生学、内分泌学、内科。2020年より東日本大震災・原子力災害伝承館の館長を務める。



佐藤 努 氏

北海道大学大学院工学研究院
環境循環システム部門
資源循環材料科学研究室 教授

1992年早稲田大学大学院理工学研究科資源及材料工学専攻博士課程修了。博士（工学）。日本原子力研究所研究員、金沢大学自然計測応用研究センター准教授、北海道大学大学院工学研究院准教授などを経て、2011年より現職。専門は環境鉱物学。特に放射性廃棄物の地層処分や休廃止鉱山の廃水処理における鉱物の応用を専門としている。



大場 恭子 氏

長岡技術科学大学 工学研究院准教授

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。日本原子力学会フェロー、同学会倫理委員会委員長、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員を務める。また2021年には、東京電力HDの核物質防護に関する独立検証委員会の委員等を務めた。原子力関連施設の社会受容問題を研究対象とする一方で、日本における技術者倫理教育の先駆的役割を果たした金沢工業大学科学技術応用倫理研究所に研究員として勤務し、技術者倫理教育の内容や評価方法についての研究を行った。その後、東京工業大学特任准教授等を経て、2020年度より現職。



吉田 学 氏

一般社団法人 HAMADOORI13 代表理事

2011年3月11日東日本大震災を福島第一原子力発電所構内で経験。避難生活をしながら原子力災害復旧に携わる。2013年から株式会社タイズスタイル設立の切っ掛けとなった東日本大震災罹災証明書発行に伴う家屋調査に従事し帰還困難区域から解除される楢葉町、浪江町などを見てきた。復興の時差を抱えながら再建に向かう地域の姿を肌で感じ「まちづくり、産業づくり、人づくりは、地域の連携が必要で次世代を担う若者自ら率先して行わなければ、真の復興はないのでは」という思いが高まる。このような思いから2020年7月HAMADOORI13は50人程度の若者による任意団体として発足。応援者を増やしながら2021年1月一般社団法人HAMADOORI13を設立。地域同士のつながり強化と大熊町の新しい「まちづくり」活動を行う。

ONLINE参加.....



土居 健太郎

環境省 環境再生・資源循環局長

1965年北海道生まれ。北海道大学大学院工学部修士課程修了。2014年7月に環境省地球環境局地球温暖化対策課長、2017年7月に福島地方環境事務所長を務めた後、2018年4月、環境省環境再生・資源循環局総務課課長に就任。2022年7月より環境省環境再生・資源循環局長に着任し、現在に至る。



関 美穂子 氏

グラフィックレコーダー

鹿児島大学法文学部卒、文化人類学専攻。旅行代理店に新卒入社し、ツアーの企画作成や手配に従事。地域おこし協力隊に到着地観光商品の造成サポートを経て、フリーランスのグラフィックレコーダーとして独立。現在は東京を拠点に活動を行っており、個人向けの思考の整理サービスであるビジュアルインタビュー「可視カフェ」や、議論や対話の場でのグラフィックレコーディング、ファシリテーショングラフィックに取り組んでいる。

MEMO

知っていただきたい
福島の課題が
あります。
「除去土壌」の
これから。

福島、
その先の
環境へ。
対話フォーラム

PROGRAM

日 時 2023年1月21日(土)
14:00~16:00 (予定)

会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4F 国際会議室
新潟県新潟市中央区万代島6番1号

14:00

開会

開会挨拶

環境大臣 **西村 明宏**

県外最終処分に向けた取組みの説明

環境省参事官 **馬場 康弘**

対話セッション

登壇者

西村 明宏

環境大臣

高村 昇 氏

長崎大学原爆後障害医療研究所 教授
東日本大震災・原子力災害伝承館 館長

佐藤 努 氏

北海道大学大学院工学研究院
環境循環システム部門
資源循環材料科学研究室 教授

大場 恭子 氏

長岡技術科学大学
工学研究院准教授

カンニング竹山 氏

お笑いタレント

吉田 学 氏

一般社団法人 HAMADOORI13 代表理事

土居 健太郎

環境省 環境再生・資源循環局長

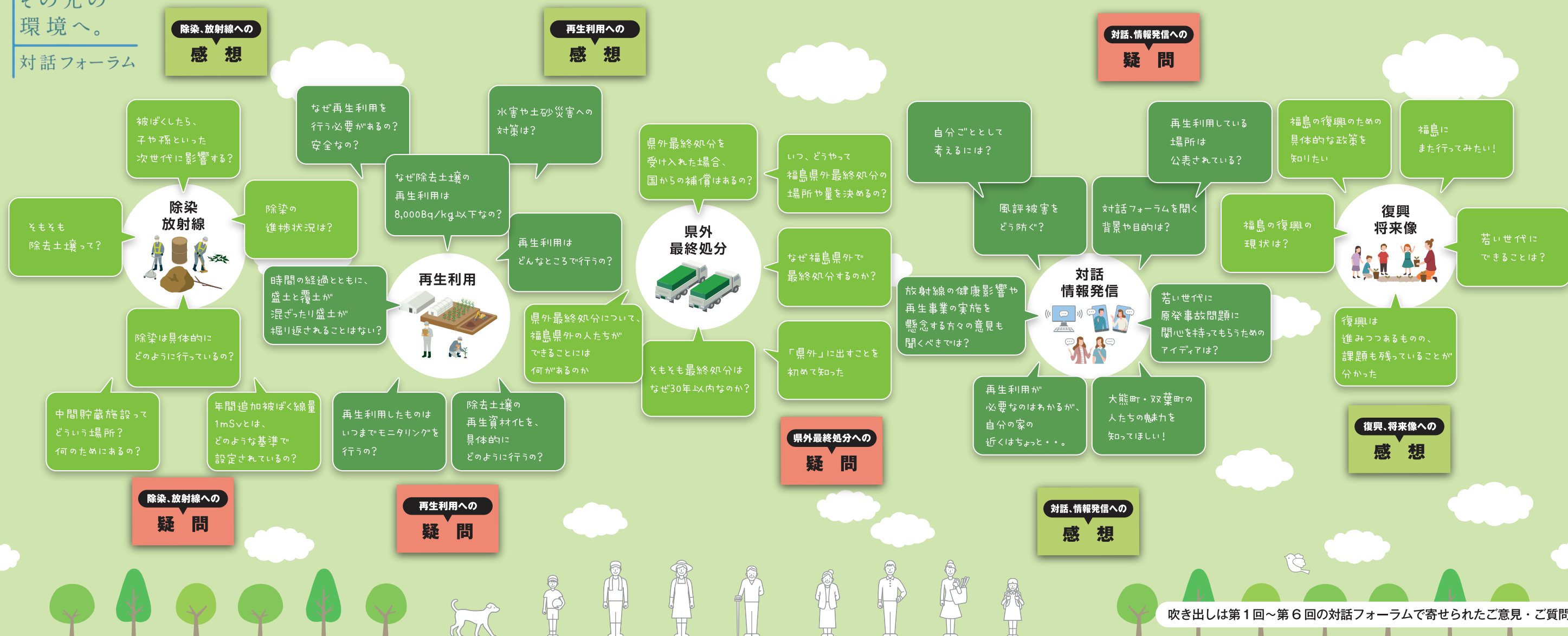
16:00

閉会

主催：環境省

福島、
その先の
環境へ。
対話フォーラム

「福島、その先の環境へ。」対話フォーラム 対話ボード



現物

付箋サイズ：W127×H75mm

付箋のご使用方法

福島環境再生事業に関するあなたの疑問や感想をこちらの付箋に書いて
会場内対話ボードの該当する部分に貼ってください。

- 記入される内容に合わせて、付箋の色を変えてください。
- お配りしているサインペンで、可能な限り端的に、ワンワード・ワンフレーズでご記入ください。

疑問

この色の付箋に
疑問をご記入ください。

感想

この色の付箋に
感想をご記入ください。